（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（明治安田生命保険相互会社　鹿児島支社）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・明治安田フィロソフィー（当社の基本的な理念を示すものとして、経営理念、企業ビジョン、明治安田バリューから構成）に沿った行動を全従業員で共有 ・また、10年計画において、「10年後(2030年)にめざす姿」を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定めており、持続可能な社会づくりへの貢献にかかる取組みと合わせて、社内への浸透を図っている								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・グループコンプライアンス基本方針および関連の各種方針・規程を制定 ・合わせて、日々の業務において遵守すべき法令や社内ルール等を「コンプライアンス・マニュアル（手順・解説書）」に掲載し、全役職員に周知・徹底																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・専門部署として、サステイナビリティ経営推進担当部を設置 ・経営会議の諮問機関として「サステイナビリティ経営検討委員会」を設置し、サステイナビリティ経営にかかる方針の検討や取組状況のモニタリングを行ない、経営会議や取締役会に報告																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		・お客さまからの直接のお申し出に加え、お客さま満足度調査、全国の支社等で開催するお客さま懇談会等を通じて、お客さまのご意見やご要望を伺い、業務改善に反映 ・投融資先企業とも、機関投資家としてエンゲージメント（対話）等を実施																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	・グループサステイナビリティ方針を制定 ・経営会議の諮問機関として「サステイナビリティ経営検討委員会」を設置し、サステイナビリティ経営にかかる方針の検討や取組状況のモニタリングを行ない、経営会議や取締役会に報告 ・【予定】サステイナビリティレポートを公表し、当社の取組みを網羅的に開示																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	・危機管理規程や事業継続マネジメント規程を制定 ・社会的インフラである生命保険の役割をふまえ、危機発生時においても、お客さまサービスのご提供等の重要業務を継続するための事業継続計画(BCP)を策定するとともに、平常時から防災・減災対策の高度化に取組み									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・ＣＥＯサクセッションプランにおいては、経営理念や経営戦略等を踏まえ、十分な時間をかけて複数の候補者を評価し、後継者を選任								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		・グループコンプライアンス基本方針等に、不公正な取引等の防止について明記するとともに、贈収賄防止規程を整備 ・コンプライアンスに関する社内研修を実施										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許管理に関する規則を制定し、他者の特許権への侵害を未然防止するための管理体制を定めるとともに、特許出願手続きについても明記								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保護に関する方針を制定・公表 ・「情報管理規程」を定め、すべての役職員がこれらを遵守 ・お客さまに関する情報の保護・管理強化に向け、情報管理を専門に担当する部署を設置																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●	・環境方針において、事業活動のあらゆる面において地球環境との調和を図ることを定めており、取引先とも環境負荷軽減にかかる問題意識を共有 ・また、投融資先との対話のテーマには、環境に加え、生物多様性、人権も包含					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・人権方針を制定するとともに、社内研修を実施 ・人権侵害行為に関する相談・通報窓口として「人権110番」を設置するとともに、「障がい者相談窓口」「LGBT 相談窓口」を設置し、さまざまな相談に迅速かつ適格に対応				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・テレワークや、地方在住のまま本社の業務を行なうリモート型勤務の導入、育児・介護・病気治療と仕事の両立支援等、柔軟な働き方を推進			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・コロナ禍でも健康を維持・増進し、活き活きと仕事に取り組めるよう、感染防止対策を徹底し、取組みを推進			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様な人材が意欲を高め、個々の能力を最大限に発揮できる環境や仕組みづくり、多様性を受容し、働く仲間が相互に成長できる風土醸成に取組み ・「女性の活躍推進」「シニアの活躍推進」「障がい者の活躍支援」に重点を置き、さまざまな環境や仕組みづくりを実施するとともに、LGBTQに関する取組みを実施				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・持続的な人財輩出に向け、社内の人財育成に関するすべての事項を集約した企業内大学「ＭＹユニバーシティ」を創設し、従業員に知識・スキル向上の機会を提供				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（明治安田生命保険相互会社　鹿児島支社）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働、同一賃金の考え方に沿った対応を実施。例えば、営業職員において、定年後も定年前とほぼ同様の条件で75歳まで働くことができる制度を整備					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員が活力をもって業務に取り組むうえで健康が重要な基盤であるとの認識のもと、「みんなの健活プロジェクト」の一環として、従業員の健康増進を推進 ・健康診断を起点とした健康づくりに取組み。従業員向けアプリを活用したウォーキングの促進や、社外講師による運動教室の開催等を実施			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX戦略を経営計画に融合し、4つの取組方針である「体験価値の徹底追求」「先進技術による効率化・高度化」「データに基づく業務運営の高度化」および「外部連携の強化」に基づき、「お客さま」「従業員」の体験価値を向上 ・2021年7月、経済産業省「DX認定事業者」認定取得								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●				3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・気候変動（オゾン層の破壊）に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備（業務用空調機、ターボ式冷凍機など）の定期点検や設備補改修などにより対策を実施。また、使用する冷媒種は、温室効果の逓減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切換えを漸次実施			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		・2050年度CO2排出量ネットゼロおよび2030年度中間目標達成に向け、電力等、自社のエネルギー使用量の削減に取組み ・社有車のハイブリッド車への切り替えを実施							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業者・機関投資家双方の立場で、自社・投融資先のCO2排出量削減にかかる2050年度ネットゼロ目標および2030年度中間目標を設定・公表し、空調設備の高効率化やペーパーレス化等各種取組みを推進		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・エコマーク商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・紙資料量の多い業種として、継続的にペーパーレスを推進 ・脱プラスチックの取組みとして、契約時にお客さまにお渡しするファイルのLIMEX素材への切り替えや紙製クリアファイルの導入等を推進						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取組み						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●	・【予定】水使用量を開示のうえ、各組織にて節水に取組み		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・ボトムアップ型の企業風土・ブランド創造運動等を通じて、子ども食堂への食料品の寄付等を実施	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	・TCFD提言等の国際基準に沿って、ホームページや統合報告書で環境情報を開示												12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・保有不動産における照明のLED化や空調設備の高効率化を推進するとともに、太陽光パネルを設置 ・【予定】2023年度より、再生可能エネルギーの段階的な導入や営業拠点を対象としたZEB Ready水準※を満たす建築物への切り替え等を推進 ※省エネに努めて建物内消費エネルギーを50%以上削減した建物							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・FSC認証木材など、資源の持続的利用に配慮した認証製品を使用												12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●							6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（明治安田生命保険相互会社　鹿児島支社）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	・脱プラスチックの取組みとして、契約時にお客さまにお渡しするファイルのLIMEX素材への切り替えや紙製クリアファイルの導入等を推進												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	・社有車のハイブリッド車への切り替えを実施									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客さまからの直接のお申し出に加え、お客さま満足度調査、全国の支社等で開催するお客さま懇談会等を通じて、お客さまのご意見やご要望を伺い、商品・サービス等の改善に反映			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・「ご高齢の方」「障がいをお持ちの方」「性的マイノリティ（ＬＧＢＴＱ）の方」「外国人の方」をはじめとするお客さまのお手続き不便を解消する取組みを「みんなにやさしい保険アクセス」として推進 ・申込書・手続書類・お客さま向け通知等について、色覚障がいをお持ちの方にも見やすいカラーユニバーサルデザイン化 ・職場環境づくりの観点では、バリアフリー化を進めるとともに、ダイバーシティの観点もふまえ対応									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、「みんなの健活プロジェクト」を通じて、「お客さま」「地域社会」「働く仲間（当社従業員）」の健康増進を応援する商品や、病気の予防・早期発見のためのプロセスを支援するサービス等を開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地方自治体や公民館・道の駅等の公的セクターおよびスポーツ団体との健康増進等にかかる協働イベントを多数開催するほか、祭事における協賛金の寄贈や当日の運営ボランティアとしての支援、自治体と協働した営業職員による行政サービス案内活動等を実施 ・また、従業員がゆかりのある地域を選んで行なう募金に会社寄付を上乗せする「私の地元応援募金」を毎年実施し、地域の課題解決を継続的に支援	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	・学校等と連携し、全国で金融・保険教育の出前授業を実施				4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●			2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●									8			11	12			15		17